

◎第42回横須賀市児童生徒表現運動・ダンス発表会の開催報告について

1 開始日時 令和6年11月23日(土) 9時30分～11時30分

2 会場 横須賀市総合体育会館(メインアリーナ)

3 概要

(1) 出場校 小学校 4校 205人
中学校 3校 26人
全体 7校 231人

(2) 大会講師 日本女子体育大学 体育学部 健康スポーツ学科
教授 前島 光 氏

4 発表内容等(発表順に記載)

(1) 鶴久保小学校(5年) 36人

【作品名】MORNING SUN

【大会講師講評】

- ・総合的な学習の時間と関連付けて、それぞれが人と違った動きをするということが、表現として素晴らしかった。
- ・踊りのスタイルを自由自在に変えながら、空間をうまく使って工夫しており、さらには、個々が違う動きをしながらも、集団としてのバランスがとれていた。
- ・全体を通してまとまりがあり、タテ、ヨコ、円などの様々な展開があり、見応えのある、トップバッターにふさわしい内容であった。



(2) 大矢部中学校（1・2年） 4人

【作品名】BIG YABEEEE!!!

【大会講師講評】

- ・ とても元気な挨拶で会場を惹きつけ、生徒がダンスを楽しみながら踊っていることがよく伝わってきた。
- ・ 全身を使い、力を入れるところ、抜くところにメリハリをつけており、また、体の中心を使って各部位を自由自在に動かしていた。さらには、短い踊りの繰り返しや、チームでのまとまった踊りを取り入れるなど、様々な展開の中で、アクセントもたくさん加えており、かっこいい素晴らしいダンスであった。

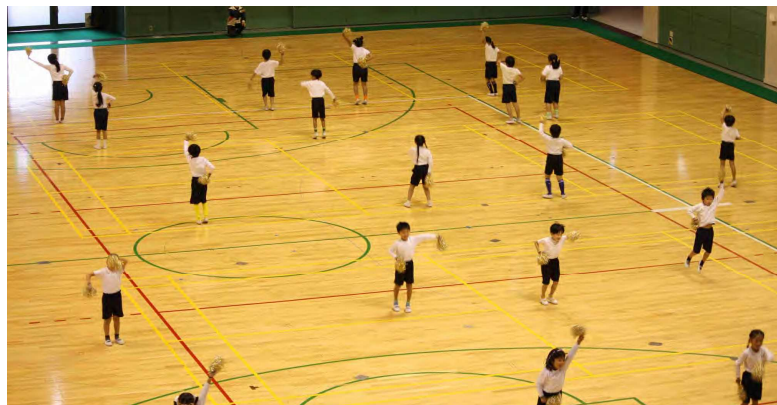


(3) 森崎小学校（2年） 55人

【作品名】はじける笑顔で P. H. L

【大会講師講評】

- ・ 元気に登場し、ジャンプなど全身を使って大きな動きを表現しようとする気持ちがとても伝わり、会場を圧倒するようなエネルギーがあった。
- ・ 途中の演出では、オリンピックのフェンシングの動きも取り入れられていて印象深かった。
- ・ 次どんな動きをするのか、楽しみでワクワクしながら見ることができ、歌声が会場に響きわたっていた。



(4) 不入斗中学校（1・2年） 9人

【作品名】イリーヤ・マーズ

【大会講師講評】

- ・ 短い時間のなかで、みんなで協力して取り組んできた様子がうかがえた。
- ・ 現代的なリズムに乗って、リズムの変化を楽しみながら、全身を使って表現している様子がうかがえ、一人一人の動きも大きく見応えがあった。
- ・ また、演奏中の「止まる」、「動く」のメリハリやバランスについても工夫しており、みんなで協力して踊る姿が魅力的であった。



(5) 北下浦小学校（1・2年） 46人

【作品名】北下浦海底探検

【大会講師講評】

- ・ フラダンスなどの様々な動きの中でも、色々な体の動きが表現されていた。
- ・ 両手を挙げて止まるところは、「何が起こるのだろう」とワクワクして惹きつけられた。
- ・ 曲に合った楽しい動きがたくさんあり、それぞれの場面で、役割になりきって表現しているところがとても素敵だった。
- ・ まさにタイトル通り、海の中にいるような動きがたくさん表現されていて、見ている側も笑顔になれる表現ダンスであった。



(6) 馬堀中学校（1・2年） 13人

【作品名】SDGs ～持続可能な社会、私達の未来～

【大会講師講評】

- ・ 保健体育科の授業で行った創作ダンスをもとに仕上げたという取り組みが素晴らしかった。
- ・ 生活や日常を題材にしており、テーマがはっきりしており、見ている人の想像力を掻き立て、一緒にダンスに参加している気持ちになるような作品であった。
- ・ 実際の動きについては、群の動きや高低差を取り入れてうまく表現されていた。
- ・ また、総合的な学習の時間との関連付けもされており、学校全体で取り組んでいることが伝わり、見るものを惹きつけるようなダンスであった。



(7) 公郷小学校（2年） 68人

【作品名】わたしたちの最高地点～伝説の海賊たち～

【大会講師講評】

- ・ 海賊をイメージするようなバンダナを身に着け、表情が豊かで海賊になりきって表現することにつながっていたと感じた。
- ・ 音楽に合わせて全身を大きく使い、ゆっくり動いたり、早く動いたり、メリハリをもって表現していた。また、バンダナの色ごとにまとまって、大きな円、小さな円と隊形を使って動いたり、波のうねりのような柔らかい動きを取り入れたり、テーマに合った素晴らしい内容であった。

